

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	コーラス 4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	ヴォーカリストコース		開設期	後期
対象年次	2 年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1 単位		授業形態	実習			
教科書/教材	資料を配布する。参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	青野・平山			実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
学習目的							
プロのミュージシャンになるにあたり、ソロヴォーカリストとしてだけではなく、様々なジャンルの職種で活動できるようグループでのコーラスワークを通じて歌唱する方法を学ぶ。楽曲がどのような構成で作られているかを理解する。コーラスワークを歌唱することによりハーモニーを習得し、ピッチやリズム感、音感を向上させる訓練をする。大人数で合唱することにより発声を安定させ、大きな声量で歌えるように喉や身体を訓練することを目的とする							
到達目標							
後期では、以下の4点の能力を獲得することを到達目標として設定する。①楽曲において美しいハーモニーが成立しているかを判断し、他のパートの音を聴きながら自分のパートを歌唱することができる。②7thや9th等のテンションを用いたコーラスワークを理解し、歌唱することができる。③既存の楽曲に自身でハーモニーを付けて歌唱する能力を身に付ける。④オリジナル楽曲に自身でハーモニーを付けてアレンジする能力を身に付けることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	後期では、自身のパートをただ歌うのではなく、コーラスワークに必要なニュアンスや発声法を理解し、個々が持っている個性をコントロールし、他パートと寄り添いながら歌うという術を学ぶ。歌詞があるコーラスだけではなく歌詞がないuh～Ah～で歌唱するコーラスワークについて学ぶ。楽曲が仕上がったら授業内でグループ毎に発表し、パフォーマンスの技術を学ぶ。他のグループの仕上りを観ることで自身の技術の向上に役立てる。						
注意点	プロの現場に必要なマナーの観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端プレイヤー等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	前期授業の復習			前期で歌った楽曲を復習し、理解を深める。			
2 回	課題曲「やさしさに溢れるように」(1)			メロディとハーモニーの構成について理解する。			
3 回	課題曲「やさしさに溢れるように」(2)			歌詞だけではなく、uh、Ahでのコーラスワークができる。			
4 回	課題曲「やさしさに溢れるように」(3)			他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
5 回	課題曲「やさしさに溢れるように」(4)			コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
6 回	課題曲「Ain't No Mountain High Enough」(1)			英詞の発音、リズム感を理解する。			
7 回	課題曲「Ain't No Mountain High Enough」(2)			グルーヴィにフェイクして歌うことができる。			
8 回	課題曲「Ain't No Mountain High Enough」(3)			他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
9 回	課題曲「Ain't No Mountain High Enough」(4)			コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
1 0 回	課題曲「春愁」(1)			言葉のもつリズム感を理解し、歌唱することができる。			
1 1 回	課題曲「春愁」(2)			メロディとハーモニーの構成について理解する。			
1 2 回	課題曲「春愁」(3)			他のパートの音を聴きながら自身のパートを歌唱することができる。			
1 3 回	課題曲「春愁」(4)			コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			
1 4 回	後期授業の復習			後期で歌った楽曲を復習し、理解を深める。			
1 5 回	発表			コーラスワークを美しく演奏しながら魅力的なパフォーマンスができる。			